

4月号 第90号

発行日 : 2024年3月21日

発行 : 虹技株式会社

安全環境管理部 環境管理G  
姫路市大津区勘兵衛町4丁目1  
☎ 079-236-3257

# 「虹の森」通信

**寒いけれど**、春は間違いなく近づいてい  
ますね。森のあちらこちらに  
春の到来を告げるしるしがいっぱいです。

まずは、春一番に咲く樹木の花と言えばタイトルバ  
ックのアブラチャンです。果実・幹・樹皮すべてに  
たくさんの脂分を含んでおり、薪炭として、また、絞  
って灯油に、さらに女性の髪の毛のオイルにと大層便利な  
木なのです。この鮮やかな黄色は落葉した森にひと  
きわ目立つ存在で鳥たちに春の訪れを知らせます。



こちらは、この時季もう恒例となったミツバチと花。  
これは白梅とセイヨウミツバチです。ご存知の通り、  
虫達が花の蜜を吸う時、おしべの花粉がめしべにくっ  
つくことで受粉し、初めて果実が実ります。なので  
虫がいなければ、草も木も実をつけることが出来ませ  
ん。虫の存在って偉大ですね〜。



こちら、恒例のユキワリイチゲ。草の中で春一  
番に咲く花です。夜に閉じられたつぼみは、お日様  
が照らすと元気に開きます。春が終わると、この雅  
な色合いの花も茎も全て姿を消します。



これもまた春の定番、オオイヌノフグリです。超  
拡大画像ですが、実物は10mmにも満たない小さな  
花で、田んぼや畑のあぜ道なんかには群生しているのを  
よく見かけます。今はソーラー発電所になっちゃっ  
てる、かつての虹技グラウンドにも群生していて、グ  
ラウンド一面に咲いた時はきれいでしたよ。ネジバ  
ナなんかも当時は群生していて、虫達もそれは沢山い  
ましたし、突然キノコが生えたり、ど真ん中にヒバリ  
が巣を作ったりする、かつてはそんな自然豊かで生物  
多様性のあるグラウンドでした。



今回は春を告げる定番のオンパレード。ご存知の  
このホトケノザは、どこにでも群生していて、引っこ  
抜かれることが多いいわゆる雑草ですが、こんなにド  
アップで見ると花の形は何とも不思議です。色合い  
も妖艶で、悪くないと思いませんか。見つけたら近寄  
ってじっくり観察してくださいね。

# 環焼爺(びびい)のつぶやきコラム



ぶつぶつ

春になると、普通はウキウキするもんじゃろうが、わしゃちょっと減入っとる。 というのはじゃな、春が近づくと葬式が増えるのじゃ。 以前よりそれは感じておったが、もう他人事ではなく身近に迫って来ておる気がするのぉ。 今年も3月に2件続いたし、先日はご存知の通り、同世代の鳥山明氏と、ちびまる子ちゃんのTARAKOさんの訃報にショックを受けた。 若い頃、Dr.スランプやちびまる子ちゃんには大いに楽しませてもらうた。 ありがとうの感謝を伝えたい。 なんか、外堀をどんどん埋められていくような気分にはさえる春じゃわい。



「ふおっふおっふおっ。 何を訳の分からんことをぼやいて黄昏とるんじゃ。 生きとし生けるものは必ず死ぬ。 それは太古から続く自然の摂理ぞ。 そんなことで落ち込んだり、しおれたりするのはナンセンスじゃ。 常日頃、自然の仕組みや環境について威ばってモノを言うておるくせに、何という情けなさじゃ。」

「ややっ、出おったな、焼却炉爺。 年寄りがパタパタとのおうなっておる春だというのに、ピンピンしとるのう。 憎まれっ子世に憚るといふが・・・。」

「残念ながら、わしもおまえも嫌われ者じゃから、なかなか迎えがこんわい。 良い人ほど早く逝ちまう。 あの世も人を選ぶでのう。 そんなことより、今日は聞きたいことがあってきたんじゃ。 虹技もこのたび導入するという「炭素クレジット」についてじゃ。 あまたの企業が「20××年にCO<sub>2</sub>排出ゼロに」な

んて威勢のいいことを掲げておるが、その実は炭素クレジットを買って穴埋めするつもりとも聞く。 この炭素クレジットなるものに信頼性、信ぴょう性は担保されておるのか、少し聞かせてくれんか。」

「おお、そんなマニアックな事に興味を抱くとは、さすがオタク爺ならではじゃ。 少し長くなるが解説してやろう。 炭素クレジットには大きく分けて2種類。 国連や政府などの公機関が主導運営するタイプと、民間主導のタイプがある。 虹技がこの度、導入しようとしているのは「省エネ由来のJ-クレジット」というて前者じゃ。

公機関主導は運営がかっちりしており信頼性は確かだと思って良いが、それゆえに融通が利きにくく、動きは遅いので、その扱う量は多くない。 それに対して、民間主導はスピード感があり非常に使いやすい為、その取引量は圧倒的に多い。 ちょっと怪しいものもくはないが、世界の炭素クレジット市場をけん引しているのが民間主導なのは、間違いない。

CO<sub>2</sub>の削減は、化石燃料の利用効率を高めるか、排出するCO<sub>2</sub>を回収するか、他の方法で相殺するか、あるいは事業を縮小するかしかない。 当然ながら企業はその事業活動の維持・拡大を目指すものだから縮小という方法はまずない。 ならば回収すればよいが、事業活動で出るCO<sub>2</sub>の回収は手間ひまと時間・お金がとんでもなく必要になる。 なので相殺を実現する炭素クレジットの購入にたいがい走ることになるじゃろ。 そこで買やすいのは圧倒的な取引量を誇る民間主導の炭素クレジットということになろう。

民間炭素クレジットは三者で構成されておる。 まずはCO<sub>2</sub>を削減する事業者、つまり、森林保護等のグリーン事業者じゃ。 ついで、そのグリーン事業者の活動の中身をチェックしてお墨付きを与える認証機関。 そして、炭素クレジットを売りさばくブローカーじゃ。

民間主導じゃと、この3つが利害関係から何か良か



らぬことをしないかと気になるのはわしだけじゃろうか。ある調査機関によると、伐採予定のない森林を保護するとうたって発行されたクレジットや、クレジット発効後に伐採された事実もあると言う。クレジットの9割近くに何らかの不適切があるという調査や、実体のない「幽霊」クレジットが4億ドルも流通しているという話や、お墨付きのアマゾン森林が60倍にかさ上げされていたという事実も耳にするぞ。」

「それもこれも、民間主導の炭素クレジットには今のところ厳格にチェックする監督機関や統一ルールがないことが最大の原因じゃ。民間認証機関は、その認証に関する中身は不明なことも多く、民間主導の炭素クレジットにはそのように様々な問題を含み、それらが指摘されておる。簡単にまとめると次の通りじゃ。

#### 「ベースライン・シナリオ」の問題

森林の保護活動と、CO<sub>2</sub>削減量の基準が不明確であるという問題。つまり、「わしらはこんなに森林保護しているからこんだけCO<sub>2</sub>を吸収できる」と、言うたもん勝ちの世界じゃ。

#### 「ダブルカウント(二重計上)」の問題

クレジットを網羅し、集中的に管理する仕組みがないので、同じ森林の保護のクレジットが発行されても分からない。事実、二重、三重に発行されているケースはあるとも言われておる。

#### 「そもそも、森林保護は守られるのか」の問題

もし、守られなかった場合、そのクレジットはどう対応するのか明確ではない。たとえば、クレジット森林が火災焼失した場合どうなる？クレジット森林を守るために他の森林が違法伐採される事態も起こり得るじゃろう。」

「待ってくれ、そう矢継ぎ早に言われても、頭が整理できん。虹技の購入予定の炭素クレジットはまさかそんなことにはならんじゃろうな。」

「公的機関主導のクレジットなのでそんな不安はないと思って良いじゃろう。だがさっきも言うたが、民間主導のクレジットに比べて流通量が少なく、お役所仕事は手続きが面倒じゃ。今のところ、日本では

お役所の報告には海外の民間主導クレジットはCO<sub>2</sub>の減算には使用できないことになっておる。しかし、これからも、世界のクレジット市場は民間主導がリードしていくのは間違いないじゃろう。でもな、この民間クレジットは「免罪符」なんて揶揄されてもおる。CO<sub>2</sub>削減に効果がないのに、これさえ買えばCO<sub>2</sub>出してもO.Kって、はき違えることになりかねん。虹技の購入する公的機関の省エネ由来クレジットが少しでも世界のCO<sub>2</sub>相殺に役立てれば良いが、現状ではまだまだ供給不足じゃ。あまたの大企業がCO<sub>2</sub>排出ゼロを目指すなか、民間主導がその免罪符ありきなら、悲しくなるじゃないか。ふう、一気に話したが、理解できたかの、焼却炉爺よ。」

「なるほど、世界の炭素クレジットの流れと、日本のクレジットではずいぶん違うのじゃな。しかし、圧倒的な取引量の民間主導炭素クレジットに関しては、世界は何も変わらんとすることじゃな。」

「ま、そういうことじゃな。世界に冠たる大企業はクレジット頼みではなく真のCO<sub>2</sub>削減を目指すことを忘れんようにせんといかんということじゃ。

ところでな、先日高校時代の軽音部の同窓会があったのじゃ。お前さんも軽音好きじゃろう。

当時のイケイケだった女子は、優しいおばあちゃんに、リーゼントのツッパリはつるっばげに、それはみごとに変貌を遂げ、誰が誰やら。当時とは違った軽音部員も寄る年波には勝てん。老化を相殺できるクレジットはないものかのう。しかしの、一人だけ黒縁メガネのニキビ面だったロック好きは、なんと金髪のロン毛になっておってたまげた。クレジットなど使わずとも、“Shake in a baby” ばりのファンキーな爺さんロッカーを貫くことはできるものじゃと感心したぞ。

会のラストで、このわしに名曲「Stand by me」を歌えとご指名がかかったのじゃ。それなりに盛り上がったが、音程が外れすぎてウケていたのかもしれない。う〜ん、ロックしてたのか、どうだったんじゃろう。」

ぶつぶつ

## 虹の森なう

今回は、ホダ木を立てかけているウマの作り替えと、新しいホダ木へのシタケ駒菌の打ち込み作業から始めました。チョット冷え込みましたが、良い天気の良いみんなで団結し、作業を進めます。まずはシタケ培地の傷んだウマの除去のため、ホダ木を一旦のけます。その際にホダ木の選別もして、もう栽培が終わったのや、傷んだホダ木は回収。そして、新しい鉄パイプ製のウマを組みます。どうです立派でしょ。



そして、こちらには穴を開けたホダ木をパイプの上に乗せる者、駒菌の差し込み者、木づちで駒菌を打ち込む者、そして出来上がったホダ木をチェックして、板伏せにする者と、手分けして流れ作業を進めます。みなさん息ピッタリにサクサク進むこと。



こんな感じです。ちなみに暖冬のおかげで、今回も結構シタケ収穫出来ました。サイズは小さいけれどもドンコと言いまして、こいつはね、味が濃くて旨いんですよ。お昼前にはシタケ作業は終了。公園の芝生で、お弁当を食べてから、虹の森に向かいます。

虹の森は、コナラがすべて落葉し、すっきりさわやかな状態なので、常緑広葉樹の雑木伐採に取りかかります。ツバキとかヒサカキは、伐っても伐っても新しく芽吹いて来るので、ナタで扱います。



斜面の細い木を伐るのは大変だけど、しっかり足場を確保しながら慎重に伐っていきます。尾根筋から新デッキへの周回遊歩道も、おおよそのルートを決めました。デッキ作りと同時進行で、次は遊歩道作りも楽しめそうです。

## 第96回 森林整備の案内と参加者募集

さて、来月は本格的な春に突入しているはず。ヒル君が出てなければ、雑木伐採をもうちょっと進めたいところ。それと尾根筋からデッキまでのトラバース遊歩道の切り込み作業も少しづつ進めたいなあ。デッキへのアプローチ階段もどうするか、相談しながら作る予定。いい汗かいた後、温泉でほっこりしませんか。初めての方大歓迎、気軽にお声がけくださいね。

**日時：** 4月13日(土) 10:00~15:00 (9:30公園駐車場集合)

**場所：** 県立ゆめさきの森公園(虹の森)

**申し込み：** 参加希望者は、環境管理G 的場まで、またはお近くにいるメンバーまで連絡ください。  
的場ケータイ：090-5979-8385

メンバーの方はショートメール等で参加の可否を連絡いただければありがたいです。

初めて参加される方は、保険に加入しますのでお名前、住所、ケータイ番号を連絡ください。